

レジリエンス研究教育推進コンソーシアム第4回幹事会議事メモ

- 1 日時：平成30年10月22日(月)10時00分～11時00分
- 2 場所：防災科学技術研究所 東京会議室
- 3 出席者：林（会長）、甘利（副会長）、遠藤
陪席者：阿部、中島、前山（防災科学技術研究所）、平岡（セコム）、松原（筑波大学）
(敬称略)

4 議事

- (1) シンポジウムパネルディスカッション進行について（案）（資料1、2）

- (2) 参画機関担当科目の担当教員について（資料3）

- (3) インターンシッププログラム実施に関する規則について

- (4) コンソーシアムの印章について（資料4）

- (5) 2019年2～3月の運営委員会について

- (6) その他

シンポジウムのブースについて

シンポジウム事前登録者一覧について（別紙1）

英語版ウェブサイト制作について

（配付資料）

- 資料1 シンポジウムパネルディスカッション進行について（案）P.1～
資料2 レジリエンス研究教育推進コンソーシアム第1回シンポジウムポスターP.3～
資料3 参画機関担当科目の担当教員についてP.5～
資料4 レジリエンス研究教育推進コンソーシアム_印章管理規則（案）P.7～
別紙1 シンポジウム事前登録者一覧（2018年10月18日現在）

シンポジウムパネルディスカッション進行について（案）

日時：2018 年 12 月 14 日(金) 16:00-16:45 （45 分間）

場所：嘉ノ雅 茗溪館 2 階「茗溪」

（東京都文京区大塚 1-5-23、東京メトロ丸の内線「茗荷谷」駅から徒歩 1 分）

モデレーター：遠藤委員

登壇者：原則として各参画機関 1 人（計 13 人）

パネルディスカッションのテーマ（案）：

- ・ いまリスク・レジリエンス分野で求められている人材とは
- ・ 協働大学院方式による学位プログラムに期待すること

進行形式：

直前の遠藤委員によるプレゼンテーションを基に、モデレーターが各登壇者に各テーマに関するご意見を伺い、話題を膨らませながら進行する。全ての登壇者に発言の機会があるように留意する。時間が余った場合は、フロアとの質疑応答に移る。

レジリエンス研究教育推進コンソーシアム 第1回シンポジウム

■主催：レジリエンス研究教育推進コンソーシアム ■共催：筑波大学
■後援：地域安全学会、日本災害情報学会、日本自然災害学会、日本災害復興学会、
情報処理学会、電子情報通信学会、日本知能情報フジ学会、エネルギー・資源学会、
日本エネルギー学会、日本都市計画学会、土木学会、警察政策学会、日本市民安全学会、
日本情報経営学会、日本航空宇宙学会、キッズデザイン協議会、日本防災産業会議、
日本ネットワークセキュリティ協会、日刊工業新聞社（順不同）

平成30年 12月14日(金)

14:00～16:50

■場所／嘉ノ雅 茗溪館 2階「茗溪」

東京都文京区大塚 1-5-23、
東京メトロ丸ノ内線「茗荷谷」駅から徒歩1分

第1部・第2部／参加費無料

我が国は世界的な自然災害大国である。

「強さ」と「しなやかさ」を兼ね備えた安心・安全な国土・地域・経済社会、
すなわちレジリエンス社会の実現は急務の課題である。

本シンポジウムでは、企業、研究機関、大学の参画により 2017 年 12 月に
発会したレジリエンス研究教育推進コンソーシアムによる、
レジリエンス社会の実現に向けた取り組みを発信する。



防災科研・林

第1部

自然・人間社会・サイバー空間に存在するリスクとレジリエンス

14:00～14:05 開会挨拶

清水 諭(筑波大学 副学長(教育担当)・理事)

14:05～14:30 自然災害のリスクに対するレジリエンスの向上

林 春男(防災科学技術研究所 理事長)

14:30～14:55 日本で起こる事件・事故に深く関わる「世間」という構造

甘利 康文(セコム株式会社 IS 研究所
リスクマネジメントグループ グループリーダー)

14:55～15:20 情報通信技術 (ICT) の進化とサイバーリスク

面 和成(筑波大学 システム情報系 准教授)

15:20～15:50 コーヒーブレイク



セコム・甘利

第2部

レジリエンス社会の実現に貢献する人材育成

15:50～16:00 コンソーシアムが推進する大学院教育

～協働大学院方式による新たな学値プログラム～
遠藤 靖典(筑波大学 システム情報系 教授、リスク工学専攻長)

16:00～16:45 コンソーシアム参画機関によるパネルディスカッション

16:45～16:50 閉会挨拶

谷 幹也(日本電気株式会社 セキュリティ研究所 所長)



筑波大学・面



筑波大学・遠藤

情報交換会

17:30～19:00 (参加費 2,000 円、要事前登録)

準備の都合上、12月2日(日)までに事前登録をお願いします。

情報交換会以外は当日参加も可能です。事前登録URLは下欄をご参照下さい。



スマートフォン対応
事前登録申し込み
QRコード

■コンソーシアム参画機関：セコム、大日本印刷、日本電気、スリーエム ジャパン、DRIジャパン、電力中央研究所、日本自動車研究所、電子航法研究所、
産業技術総合研究所、防災科学技術研究所、労働安全衛生総合研究所、国家災害防救科技中心(台湾)、筑波大学

■お問合せ：レジリエンス研究教育推進コンソーシアム事務局 TEL.029-853-4975 E-mail:r2ec@risk.tsukuba.ac.jp

■事前登録URL：https://r2ec.jp/news/882/

レジリエンス研究教育推進コンソーシアムが目指すもの

安全・安心を創る

参画機関担当科目の担当教員について

科目名	担当機関	筑波大学世話人教員	担当教員数	担当教員
リスク・レジリエンス工学概論	大日本印刷	遠藤 靖典	1	(非常勤講師予定)
	日本電気	西出 隆志	1	
	電子航法研究所	伊藤 誠	2	
ヒューマンファクター特論	日本自動車研究所	伊藤 誠		
セキュリティ論考特論	セコム	遠藤 靖典	1	(非常勤講師予定)
災害リスク・レジリエンス論	防災科学技術研究所	糸井川 栄一 岡島 敬一	8	(客員教員予定)
				(客員教員予定)
				(客員教員予定)
				(非常勤講師予定)
				(非常勤講師予定)
				(非常勤講師予定)
				(非常勤講師予定)
環境・エネルギー・安全工学概論	産業技術総合研究所	伊藤 誠 岡島 敬一 遠藤 靖典	4	(客員教員予定)
				(客員教員予定)
				(非常勤講師予定)
	電力中央研究所	岡島 敬一	1	(客員教員予定)
リスク・レジリエンス工学 修士インターンシップA	全機関			
リスク・レジリエンス工学 修士インターンシップB	全機関			
リスク・レジリエンス工学 博士インターンシップA	全機関			
リスク・レジリエンス工学 博士インターンシップB	全機関			

※2019年度開講に向け、2019年2月8日のシステム情報工学研究科運営委員会にて非常勤講師の認定

※客員教員が担当教員となる場合も、担当科目の認定が必要

※インターンシップについては、全機関から担当教員を出すことを想定

レジリエンス研究教育推進コンソーシアム 印章の管理に関する規則（案）

〔 レジリエンス研究教育推進コンソーシアム運営委員会
平成〇〇年〇〇月〇〇日制定 〕

（目的）

第1条 この規則は、レジリエンス研究教育推進コンソーシアム（以下「コンソーシアム」という。）における印章の種類、新調、保管、使用等の基準について定め、これを統一的に管理することを目的とする。

（印章の定義）

第2条 この規則において印章とは、コンソーシアムが発行し、又は受理する文書、証憑等で、権利義務の行使若しくは履行又は官公署への申請、届出等の際し、コンソーシアム名又は職名で証明のために押す印章をいう。

（印章の種類及び印影）

第3条 印章の種類及び印影は別表のとおりとする。

（印章の新調、改刻及び廃止）

第4条 印章の新調、改刻及び廃止は、会長の承認を得て事務局が行う。

（印章の管理）

第5条 印章の保管・押印に関する責任は、事務局が負うものとする。

- 2 印章は、盗難及び不正使用のないようすべて印章箱に納めて保管し、勤務時間外にあっては金庫その他確実な保管設備のあるものに保管し、かつ施錠しておかなければならない。

（印章の使用）

第6条 印章は、事務局でなければ使用することができない。

- 2 印章を押印する場合は、押印する文書と原議を対査しなければならない。
- 3 事務局は、前項の規定により印章を押印したときは、印章使用簿にその内容を記載しなければならない。

(印章の事故報告)

第7条 事務局は、保管する印章が盗難、紛失その他の事故にあったときは、直ちにその経緯について会長に報告するとともに、その指示を受けて所要の措置を講じなければならない。

(委任)

第8条 この規則に定めるもののほか、印章に関して必要な事項は、別に定める。

附 則

この規則は、平成〇〇年〇〇月〇〇日から施行する。

別表（第3条関係）

種類	印影	表示文言及び寸法
コンソーシアム会長印	 A square seal with a double-line border. The text is in seal script (shōsho). The characters are arranged in two columns: the right column reads 'レジリエンス研究教育推進' (Resilience Research Education Promotion) and the left column reads 'コンソーシアム会長之印' (Consortium Chairman's Seal).	レジリエンス研究教育推進 コンソーシアム会長之印 一辺30mm程度の正方形